

【様式1】

平成29年度 農業電化推進コンクール応募用紙

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| 氏名<br>(団体名)        |              |
| 生年月日(年齢)<br>(代表者名) |              |
| 所在地                | 〒<br><br>TEL |
| 表題<br>(業績や技術の名称)   |              |
| 応募事例の概要：           |              |
|                    |              |

\*名称・代表者氏名・所在地にはふりがなを付して下さい。

\*アピール点を明確に記述下さい。

\*適宜改行し記述スペースを確保して下さい。

\*MS明朝10.5ポイントで入力して下さい。

業績調書の知的及び個人情報保護遵守について

- ・提出頂いた「知的財産」及び「個人情報」は審査と選考（所定推薦様式作成を含む）、理事会への選考結果の承認申請、農林水産省生産局への報告に使用するものとし、目的外に使用したり他へ漏洩する事の無いよう適正に管理するものとします。
- ・但し、受賞対象となりました業績は、別途発行する「平成29年度農業電化推進コンクール受賞者業績概要」並びに当協会ホームページ上に掲載させていただきます。掲載に当たっては、知的財産所有者及び応募・推薦調書作成者のご承認を頂いたものとして取り扱わせて頂きます。

## 1. 農業経営の概要

(1) 立地条件 (地域の概況 (標高、地形、土壌、生産力など)、地域の気象条件の概況など)

(2) 対象農畜産物 (作物名、品種など)

(3) 経営規模 (作付面積、就労人員、生産量、生産コストなど)

(4) 技術、経営等の特色 (作付体系、栽培技術、品質管理技術、出荷方法など)

## 2. 農業電化技術の導入・実践の概要

(1) 導入実践の経緯 (開始年次、取組の動機、経過など)

(2) 電化設備概要 (導入設備機器の種類、時期、台数、容量 (KW, KVA) など)

(3) 導入技術の新規性 (地域又は品目における新規性など)

(4) 導入技術の内容 (独自開発や改良した内容など)

(5) 導入技術のシステム (複数の技術を組み合わせたシステムの内容など)

### 3. 農業電化による経営・技術の改善

- (1) 生産性の向上（生産量の増加、生産の安定化等、生産に関する改善）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2) 品質の向上（品質の均一化、高付加価値化、鮮度保持等、品質に関する改善）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (3) 農作業の効率化（労働時間の短縮、作業の効率、作業環境等、労働作業に関する改善）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (4) 生産コストの改善（燃料費、電気代、農薬、肥料等、生産コストに関する削減）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (5) 経営規模の拡大（作付面積の拡大、出荷額の増加など）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (6) 環境保全型農業の実践
  - 農薬、化学肥料の使用量の低減

消費エネルギーの削減

温室効果ガスの排出抑制

その他

4. 農業電化の周辺等への影響力・普及力

(1) 農業電化の普及 (広報活動, 見学の受け入れなど)

(2) 地域ブランドの確立 (地域における品質の差別化など)

(3) 地域への技術の提供 (後継者の育成, 技術の指導など)

(4) 産地の規模拡大 (雇用の拡大, 販路の拡大など)

5. その他特記事項

これまでの表彰実績

主な役職

6. 今後の展望 (今後の発展性など)